

令和3年度

シラバス(専門教科)

～農林技術科 1年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

農林技術科 1 年 専門教科

農業と環境

栽培・環境分野 P 1

飼育・環境分野 P 4

総合実習 P 7

農業情報処理 P 9

農業と環境 (栽培・環境分野)	単位数	4単位(2単位)
	学科・学年	農林技術科・第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 農業生物の育成についての体験的,探求的な学習を通じて農業に関する基礎的知識と技術を習得させる。</p> <p>2 農業と環境の学習について興味関心を高めるとともに科学的思考力と問題解決力を伸ばし,農業の各分野の発展を図る能力と態度を育てる。</p>
使用教科書・副教材等	農業と環境 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考查
一 学 期	第1章 農業と環境 ・プロジェクト学習	4	・農業と環境の学習内容を紹介し, 興味関心を高める。 ・農業クラブ活動を理解する。	・生命を扱うことの大切さを知るために, 栽培過程で起こる様々な現象の原因と結果を考えます。 ・地域の農業を知るため, 環境について調査研究します。 ・トウモロコシ・トマト・深ネギ苗・ピーマンの栽培・管理を行います。	中間 考 査
	第6章 学校農業クラブ 第2章 私たちの暮らしと農業・農村	5			
	第4章 栽培と飼育のプロジェクト ・ トリモロシ (穀実類) ・ トマト (果菜類) ・ ピーマン (果菜類)	6	・春作野菜を種まきから収穫, その後の利用まで一貫した学習により, 栽培の基本的な栽培知識, 技術を身に付け, 栽培上の環境について学ぶ。さらにプロジェクト学習法についての活動を行う。		
		7			
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業中に使用するプリント, ノートを各段階で提出します。</p> <p>2 実験・実習についてはレポートを作成し, 自己評価を行い, 提出します。</p>					
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>定期考査の成績(中間考査と期末考査)を概ね70%, その他平常点として出席状況, 授業態度, 実習態度, 提出物(ノートやレポート)の状況を30%とし評価します。</p>					
二 学 期	第3章 栽培と飼育の基礎 第4章 栽培と飼育のプロジェクト ・ハクサイ (葉茎菜類)	7	・栽培の基礎として, 作物の特性やしくみ, 栽培と環境の関わりを理解する。 ・秋作野菜と草花を通じて春作同様, 一貫した栽培により, 季節ごとの栽培知識, 技術を習得させる。 ・市場や文化祭等を通じて収穫後の調整 → 出荷 → 販売に至るまでの仕組みを理解させる。 ・収穫物の利用法や花壇等の管理方法を知り, 適切にできる。 ・地域の代表作物である深ネギ栽培を導入して, 地域農業に関心を持たせる。 ・利用部位による分類された野菜ごとの栽培方法の違いを知る。 ・栽培(ドングリと萌芽更新) ・シイタケ原木採取と菌打ち体験 ・木炭製造(黒炭製炭法)	・作物に関する環境について調査します。 ・春作での経験をふまえて, それぞれ秋作の栽培計画を立てます。 ・ハクサイ・ダイコン・キャベツ・深ネギの栽培・管理を行います。 ・生産の場だけでなく販売やさらなる付加価値をつけた利用方法を考え, 現場に立って経験します。 ・代表的な広葉樹の特徴と利用について体験学習を行います。	中間 考 査
	・ダイコン (根菜類) ・キャベツ (葉茎菜類) ・ネギ (葉茎菜類)	9			
		10			
		11			
・コナラ (クヌギ)	12			期末 考 査	

<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業中に使用するプリント，ノートを各段階で提出します。</p> <p>2 実験・実習についてはレポートを作成し，自己評価を行い，提出します。</p>				
<p>【2学期の評価方法】</p> <p>定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70%，その他平常点として出席状況，授業態度，実習態度，提出物（ノートやレポート）の状況を30%とし評価します。</p>				
三 学 期	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 ・プロジェクト学習のまとめ ・作物栽培と環境	1	・観察記録簿をもとにパソコンによるプレゼンテーションのねらいを理解させる。	学 年 末 考 査
	第5章 環境調査と環境保全 ・環境調査の方法 ・植生，生物，土壌，水質の調査	2	・栽培環境が作物に与える影響について考えさせる。	
		3	・地域の農業と自然環境の関係を理解させる。 ・植生や生物などの環境調査の方法を学び，研究する。 ・まとめとして，農業クラブ活動やプロジェクト学習を理解する。	
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業中に使用するプリント，ノートを各段階で提出します。</p> <p>2 実験・実習についてはレポートを作成し，自己評価を行い，提出します。</p>				
<p>【三学期の評価方法】</p> <p>定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70%，その他平常点として出席状況，授業態度，実習態度，提出物（ノートやレポート）の状況を30%とし評価します。</p>				
<p>【年間の学習状況からの評価方法】</p> <p>1学期の成績，2学期の成績及び3学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。</p>				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<p>(1) 科書を読むなどして予習をしましょう。</p> <p>(2) 授業時間内の指導者の指示をよく聞き，指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。</p> <p>(3) 地域の農業の状況も観察し，学校農場の栽培状況と比較し，異なる点については調べてみましょう。</p>
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<p>(1) 座学においては，教科書・ノート・プリント綴り，実習においては，実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないこと。</p> <p>(2) 授業中の指導者の指示に従うこと。特に，実習においては注意されたことを守ること。</p>

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<p>・農業と環境に関する基礎的な知識を習得し，それぞれの農業生産物の特性とそれを取り巻く栽培・飼育環境との関係を理解しているか。</p> <p>・農業と環境に関する基礎的な技術を習得させ，プロジェクト学習の中で適切に生かすことができるか。</p>	<p>・定期考査</p> <p>・発言</p> <p>・観察記録簿の記入</p> <p>・行動観察</p> <p>・実技</p>
思考・判断・表現	<p>・農業について科学的な思考と問題解決能力を身に付け，日々の観察記録簿や資料等を使って調査したことの中から分析し，考察する。環境調査を行い，栽培・飼育上の課題を合理的に判断，</p>	<p>・観察記録簿の記入（観察，考察等）</p> <p>・定期考査</p> <p>・発言</p>

	日々の観察記録簿の中でのスケッチを利用した観察や考察が正しく表現することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・プロジェクト発表時のプレゼンテーション
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境についての興味・関心を持ち、プロジェクト学習に主体的に取り組み、課題解決に向けて積極的活科学的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・観察記録簿の記入 ・発言 ・定期考査

3 担当者からのメッセージ

- (1) 畑等での調査・観察，スケッチ，教室での講義，レポート作成，グラフ作成など様々な形態の学習をするものを忘れないことが大切です。
- (2) 指示をよく聞いて，提出物は必ず出しましょう。また，学習道具や実習服などの学習に向けての準備するものを忘れないことが大切です。

農業と環境 (飼育・環境分野)	単 位 数	4単位（2単位）
	学科・学年・学級	農林技術科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 家畜動物の育成について体験的・探求的な学習を通して、農業や飼育環境に関する 基礎的な知識と技術を身につけます。 2 繁殖・育成・肥育・出荷と実習を行い、農業・農村、環境学習に対する興味・関心を高めます。 3 1と2の学習成果に立って、科学的な思考力と問題解決能力を伸ばし、農業と環境の各分野の発展を図る能力を身に付けます。
使用教科書・副教材等	農業と環境（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲	
第 1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・「農業と環境」の学習について 第6章 私たちの暮らしと農業 ・プロジェクト学習とその発展 ・学校農業クラブ活動 第3章 栽培と飼育の基礎 ・家畜の特性と飼育 ・飼育学習の基礎 ・家畜の成長、繁殖、飼料 ・飼育環境の管理と整備 第4章 ・ニワトリの飼育と利用 ・ニワトリの特徴 ・ニワトリの一生と飼育計画 ・ニワトリの形態 ・プロジェクト学習の実際 ふ化と育すう 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちに共に暮らす動物たちとの関わりを理解します。 ・学校農業クラブとプロジェクトの進め方について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農場配置と実習の基本的態度及び評価について説明します。 ・学校で飼育されている家畜の品種をおぼえます。 ・春季の管理として入すうの準備を行います。 ・中びなの管理 ・用具や器具の使用と実習中の危険防止について学びます。 ・大びなの管理 	中 間 考 査	
		5	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜の飼育に関する基本や家畜の性質、習性や発育、さらに飼育環境について理解します。 ・初生びなの管理について理解します。 			
		6	<ul style="list-style-type: none"> ・ニワトリの一生と品種、飼育方法と飼育器具・資材について理解します。 ・家畜の特徴を知り、適切な管理が出来るようになります。 			期 末 考 査
		7	<ul style="list-style-type: none"> ・卵の洗卵選別の方法を理解します。 (1年間実習で実施します。) ・鶏卵の構造と各部の名称を理解します。 			
<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 2 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。 						
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70％、その他平常点として出席状況、授業態度、実習態度、提出物（ノートやレポート）の状況を30％とし評価します。</p>						

第2学期	<ul style="list-style-type: none"> 飼育の基礎実験 <ol style="list-style-type: none"> ひなの管理 行動観察 予防接種 と殺と解体 産卵鶏の管理 <ol style="list-style-type: none"> 食性と消化生理 成鶏の飼料給与 産卵生理 産卵と環境 鶏卵の加工と利用 	9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ひなの特徴を知り、適切な育成管理技術を習得します。 家畜の行動を観察し、体のつくりや繁殖上の特徴を理解し、今後の飼育に役立てます。 病気の予防と予防接種の方法を理解します。 鶏のと殺と解体実習から消化器の位置と形態を観察し、その役割を理解します。また、生と死について考えさせ、「食」教育につなげます。 繁殖や産卵生理について理解します。 産卵と環境の関わりについて理解し、飼育環境について考えます。 卵の品質やその加工法と利用法について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ふ化実験 行動観察とスケッチ ワクチン接種 ニワトリの解体実験 鶏卵と生殖器の観察 飼育環境の記録と鶏の健康観察 鶏卵の鮮度の見分け方の実験 	中間 期末 考 査
	<p>【課題・提出物】</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。 <p>【第2学期の評価方法】</p> 定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70%、その他平常点として出席状況、授業態度、実習態度、提出物（ノートやレポート）の状況を30%とし評価します。				
第3学期	<ul style="list-style-type: none"> ブロイラーの飼育と加工 <ol style="list-style-type: none"> 品種と飼育方法 加工法 プロジェクト学習のまとめ <p>第5章 環境調査の方法と環境の保全</p> <p>第2章 私たちのくらしと農業・農村</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域の自然環境と農業 日本の食料・農業・農村 今後の課題 	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ブロイラーの品種と飼育方法について理解します。 ブロイラーの加工方法について理解します。 観察記録簿をもとにパソコンによるプレゼンテーションのねらいを理解します。 環境調査についての調査方法や研究を行い、地域の農業と自然環境の関係を理解します。 統計資料から現在の農業の現状と課題を理解します。 農業・農村の役割とこれからの課題を理解し、各専攻に向けたプロジェクト学習に取り組みます。 	プレゼンテーション を作成します。 ・自己評価カードを作成します。	学 年 末 考 査
	<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。 <p>【第3学期の評点方法】</p> 定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70%、その他平常点として出席状況、授業態度、実習態度、提出物（ノートやレポート）の状況を30%とし評価します。				
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> 1学期の成績、2学期の成績及び3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。					

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教科書を読むなどし、予習・復習をしましょう。 授業担当者の指示をよく聞き、指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。 地域の農業の状況を観察し、学校農場と比較し、異なる点については調べてみましょう。 授業や実習中に疑問に思ったことがあれば積極的に質問しましょう。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	教科書とノートを忘れずに準備しましょう。また、実習を伴うため、実習着などの忘れ物がないよう事前準備に気を配りましょう。授業中は私語を慎み先生の指示にしっかりと従いましょう。レポートやノートなどの提出物は期限を守ってしっかりと整理し提出しましょう。

- (2) 評価の観点、内容及び評価方法
 皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

<p>評価の観点及び内容</p>	<p>評価方法</p>
------------------	-------------

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境に関する基礎的な知識を習得し、それぞれの農業生産物の特性とそれを取り巻く栽培・飼育環境との関係を理解しているか。 ・農業と環境に関する基礎的な技術を習得させ、プロジェクト学習の中で適切に生かすことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・発言 ・観察記録簿の記入 ・行動観察 ・実技
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・農業について科学的な思考と問題解決能力を身に付け、日々の観察記録簿や資料等を使って調査したことの中から分析し、考察する。環境調査を行い、栽培・飼育上の課題を合理的に判断、日々の観察記録簿の中でのスケッチを利用した観察や考察が正しく表現することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察記録簿の記入 (観察、考察等) ・定期考査 ・発言 ・行動観察 ・プロジェクト発表時のプレゼンテーション
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境についての興味・関心を持ち、プロジェクト学習に主体的に取り組む、課題解決に向けて積極的活科学的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・観察記録簿の記入 ・発言 ・定期考査

3 担当者からのメッセージ

- (1) 畜舎等での調査・観察、スケッチ、教室での講義、レポート作成、グラフ作成など様々な形態の学習をするものを忘れないことが大切です。
- (2) 指示をよく聞いて、提出物は必ず出しましょう。また、学習道具や実習服などの学習に向けての準備するものを忘れないことが大切です。
- (3) 実習では、危険を伴う場合があります。指示をよく聞いて理解し、実習に取り組みましょう。

総合実習 (部門別ローテーション)	単位数	3 単位
	学科・学年	農林技術科・第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1)体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得します。 (2)畜産・林業・食品・農林館販売での内容についての理解を深め、基礎的専門分野の知識や実技など実践的な能力と態度を育てます。
使用教科書・副教材等	実験実習ノート

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考查
一 学 期	4 部門についての専門学習 ・ 畜産 ・ 林業 ・ 食品 ・ 農林館	4	<ul style="list-style-type: none"> 各部門における基本的な作業管理・技術を学び、専門的知識・技術を学びます。 農業技術検定の初級・中級の合格を目指します。 農業鑑定競技や意見発表を通して、農業に関する知識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの書き方と整理法について学びます。 実技テストの実施について学びます。 各種競技会へ参加する態度を養います。 生産物の販売を行い、接客などを学びます。 	期末 考 査
		5			
		6			
7					
【課題・提出物等】 ・ 毎回の総合実習のレポート提出 ・ 意見発表原稿提出					
【第1学期の評価方法】 ・ 出席点 ・ 校内農業鑑定競技 ・ 毎回の実習態度 ・ 意見発表への積極的参加と結果 ・ 毎回のレポート提出					
二 学 期	各部門についての専門学習 ・ 畜産 ・ 林業 ・ 食品 ・ 農林館	7	<ul style="list-style-type: none"> 各部門における基本的な作業管理・技術を学び、専門的知識・技術を学びます。 農業技術検定の初級・中級の合格を目指します。 生産計画の企画立案, 商品化などの実習に関して, 農業生産工程管理や食品衛生について学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種競技へ参加する態度を養います。 生産物の販売を行い, 接客などを学びます。 	期末 考 査
		9			
		10			
11					
12					
【課題・提出物等】 毎回の総合実習のレポート提出					
【2学期の評価方法】 ・ 出席点 ・ 毎回の実習態度 ・ 毎回のレポート提出					
三 学 期	各部門についての専門学習 ・ 畜産 ・ 林業 ・ 食品	1	<ul style="list-style-type: none"> 各部門における基本的な作業管理・技術を学び、専門的知識・技術を学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技テストの実施について学びます。 生産物の販売を行 	学 年 末 考 査
		2			

期	・農林館	3	・農業技術検定の初級・上級の合格を目指します。	い、接客などを学びます。	査
【課題・提出物等】 毎回の総合実習のレポート提出					
【三学期の評価方法】 ・出席点 ・農業技術検定結果					
【年間の学習状況からの評価方法】 ・1・2・3学期の平均点を基準とする。 ・出席点レポートと出席点，平常点を参考にする。 ・各専攻班の先生方の評価も含む。					
確かな学力を身に付けるためのアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> ・農業技術検定を繰り返し勉強し，合格の目標を持って真剣に取り組んでください。 ・授業で学んだ事をレポートに書きとめ，積極的に質問して下さい。 			
授業を受けるに当たって守ってほしい事項		<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めますので，時間厳守で集合して下さい。 ・実験・実習の際は道具などの取り扱いには万全の注意をして下さい。 ・授業の最後は後片付けをしっかりとして下さい。 ・校外での実習等ではマナーをしっかりと守って下さい。 			

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・各専攻に関する基礎的な知識と技術を身につけ，特性と社会環境の関係や育成の過程等を理解しているか。	農業技術検定レポート
思考・判断・表現	・管理の記録を分析するなど課題を多面的に考察しているか。 ・見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	レポート 意見発表
主体的に学習に取り組む態度	・各専攻学習に興味・関心を高めているか。 ・各専攻に関するプロジェクトを主体的に行うなど課題の探求に意欲的に取り組むとともに，その課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけているか。	プロジェクト発表 農業鑑定競技レポート

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・農業技術検定を通して，基本的な知識の習得から専門的な知識の理解を深めましょう。 ・農家や企業などの訪問を通して，地域との関わりを深め，地域農業を活性化しましょう。 ・プロジェクト発表や農業鑑定競技等の各種競技大会に積極的に参加し，自らの力を発揮しましょう。

農業情報処理	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	農林技術科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1) 情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養います。 (2) 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につけます。
使用教科書・副教材等	教科書：実教出版「農業情報処理」 副教材：ビジネス文書実務検定模擬試験問題集（3・4級）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）	考 査 範 囲
1 学 期	1 生活と農業の情報化 ア 生活と情報 イ モラルとセキュリティ ウ 農業を支える情報	4	・ネットワーク社会について理解します。 ・情報の種類とその表現方法を理解します。 ・情報通信ネットワークの概要，種類と特徴を理解します。	ビジネス文書実務検定（3・4級）	中 間 考 査
		5			
	2 情報の基礎 ア コンピュータのしくみと利用 イ ネットワーク	6	・コンピュータの利用について理解します ・日本語ワードプロセッサの特徴と機能を理解します。		期 末 考 査
		7	・日本語ワードプロセッサの操作方法を身につけます。		
【課題・提出物等】 配布プリント，実技の印刷物，ノート 【第1学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。 2 定期考査70%，学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）15%，提出物（実技・ノート・レポート等）15%の配分で行います。					
2 学 期	ア 日本語ワードプロセッサの利用	9	・検定試験に向けての実技演習を行います。	ビジネス文書実務検定（3・4級）	中 間 考 査
		10	・表計算ソフトの特徴と機能を理解します。		
	イ 表計算ソフトの利用	11	・表計算ソフトの利用方法を身につけます。		期 末 考 査
		12			
【課題・提出物】 配布プリント，実技の印刷物，ノート 【第2学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組む態度，検定試験に向けての実技の成果，課題の提出状況と定期考査等の成績などで評価します。 2 定期考査70%，学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）15%，提出物（実技・ノート・レポート等）15%の配分で行います。					

3 学 期	ウ プレゼンテーションソフトの利用	1	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を理解します。 ・学校紹介プレゼンを作成します。 	学 年 末 考 査
		2		
		3		
【課題・提出物等】 配布プリント，実技の印刷物，ノート				
【第3学期の評点方法】 1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。 2 定期考査70%，主体的に学習や実技に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）15%，提出物（実技のデータ・ノート・レポート等）15%の配分で行います。				
【年間の学習状況からの評価方法】 1学期の成績，2学期の成績及び3学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	① 積極的に取り組みましょう ② 資格取得に向けて放課後なども自主的にチャレンジしよう。 ③ 授業をしっかり聞き，重要な文章には赤線を引く。 ④ 分からないところはそのままにせず，先生に聞きにくる。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	① 座学では始まりのチャイムで着席しておくこと。 ② 積極的に発言すること。 ③ 実技では，先生の注意や指示を厳守すること。 ④ 服装は正しく着用すること。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	農業情報処理の基本的な知識と基礎的な技術を身につけている。	学習活動の取組，毎時間のファイル提出 定期考査
思考・判断・表現	基本的な操作や技術を理解して，それらを状況に応じて創造的に考えて，利用・表現できる。	学習活動の取組，毎時間のファイル提出 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	ワープロや表計算，プレゼンテーションソフトの学んだ技術を総合的に活用するとともに，資格取得などに主体的に取り組んでいる。	学習活動の取組 資格取得

3 担当者からのメッセージ

- ・様々なソフトウェアの基本的な技術を主体的に学び，活用できるようにしよう。また，資格取得にも積極的に参加しよう。
- ・情報モラルやセキュリティを十分に理解し，社会における情報を正しく活用できるようにしよう。